

2023年9月3日 礼拝説教要旨

ハイデルベルク信仰問答講解説教Ⅱ 13 「永遠の神の御子」

ヨブ38：7、ローマ8：14～17

**問33** わたしたちも神の子であるのに、なぜこの方は神の「独り子」と呼ばれるのですか。

**答** なぜなら、キリストだけが永遠からの本来の神の御子だからです。わたしたちはこの方のおかげで、恵みによって神の子とされているのです。

「本来の」という部分はドイツ語では「生まれながらの」となっているようです。イエスさまだけが生まれながらの、初めからの神の御子です。わたしたちはどうかというとパウロは「生まれながら神の怒りを受けるべき者でした」（エフェソ2：3）と述べています。信仰問答でも「わたしは神と自分の隣人を憎む方へ生まれつき心が傾いている」（問5）と言い、また「わたしたちは皆、罪のうちにはらまれて生まれてくるのです」（問7）と言います。生まれながらの神の御子であるイエスさまと生まれながらの罪人であるわたしたち。ここに大きな違いがあります。使徒信条はその本来の神の御子を「独り子」と表現しました。

使徒信条と並んで教会の基本信条の中にニカイア信条があります。そこでは「独り子」という表現をもう少し詳しく言い表しています。「主はすべての時に先立って、父より生まれ、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られずに生まれ、父と同質であり、すべてのものはこの方によって造られました」ここでは「父より生まれ」「造られずに生まれ」ここには「生まれる」という表現が繰り返されています。ニカイア信条の成立の背景には、教会の中にイエスさまが父なる神さまによって造られたもの、被造物であるという考え方がありました。被造物であれば、わたしたち人間と同じになってしまいます。それゆえイエス・キリストはまことの神さまではなく、単なる人間にすぎないという考えが出てきたり、あるいは限りなく神さまに近い完全な被造物であるという主張がありました。けれども教会はそういう主張を退けました。それがニカイア信条の「造られずに生まれ」という表現に表れています。ここはわたしたちの信仰の急所です。ここが崩れるとすべてが崩れてしまう。わたしたちの救いは、イエスさまが神さまの「独り子」であるかにかかっています。

イエスさまだけが「永遠からの本来の神の御子」です。被造物であるわたしたちとは本質的に違います。その神の御子が、わたしたちのところに来てくださった。そして驚くべきことにまことの人となってくださった。どうしてでしょう。わたしたちを神の子とするためです。

**問18** それでは、まことの神であると同時に、まことのただしい人間でもある、その仲保者とはいったいどなたですか。

**答** わたしたちの主イエス・キリストです。この方は、完全な贖いと義のために、わたしたちに与えられているお方なのです。

イエスさまはまことの神さまでもあり同時にまことの人となられて、仲保者、神さまとわたしたちの仲立ちをしてくださいました。十字架とよみがえりによって、わたしたちを御前にとりなし、完全な贖いを成し遂げてくださいました。それゆえに信仰問答は「わたしたちはこの方のおかげで、恵みによって神の子とされているのです」と告白します。まことの神さまである独り子なるイエスさまがとりなししてくださいましたからこそ、わたしたちは罪を赦され、神の子とさせていただきました。もしイエスさまがわたしたちと同じ被造物、人間にすぎなかったなら、この救いは成り立ちません。

しかしこの「独り子」が曖昧になる誘惑があります。先週は、再建されたジェーンズ邸が一般公開されたニュースがありました。熊本は日本のプロテスタント教会の源流の一つ熊本バンド発祥の地です。ご存知のように、英語教師ジェーンズの教えを受けた熊本洋学校のメンバーが同志社大学に行きまして伝道者となり教会を立てていきました。しかし神学的には熊本バンドは自由主義神学と言ってリベラルな神学の影響を受けていました。のちに同志社の総長になる海老名は説教の中でヨハネ福音書の冒頭「光は暗闇の中で輝いている」(1:5)に触れこのように述べています。「この光が現れて釈迦の光明となり、孔子の光明となり、またイエスの光明となれる」海老名においては、釈迦も孔子もイエス・キリストも同列に並べられています。「釈迦も孔子も神と言いたい」とも述べています。(『日本の説教1海老名弾正』41~50頁「キリスト教の要領」)ここにはイエスさまが独り子であるという信仰はありません。海老名は、人間は誰も神の子としての素質を持っているとして、だから切磋琢磨して成長し神の子となるのが救いであると説きました。その模範が釈迦であり孔子でありイエス・キリストなのです。それは倫理、道徳であり、福音ではありません。

福音とは、永遠からの本来の神の御子であるイエスさまが、わたしたちを罪から救うために、この永遠を捨てるようにして、わたしたちと同じ人間となられ、十字架でご自身を犠牲にして罪を贖ってくださった、そして三日目によみがえられ、わたしたちを神の子にしてくださいましたことに他なりません。この永遠からの本来の神の御子のおかげで、恵みによってわたしたちは神の子とさせていただくのです。そしてそれゆえにわたしたちはこの方を主と呼びます。

**問34** あなたはなぜこの方を「我らの主」と呼ぶのですか。

**答** この方が、金や銀ではなく御自身の尊い血によって、わたしたちを罪と悪魔のすべての力から解放し、また買い取ってくださりわたしたちの体も魂もすべてを御自分のものとしてくださったからです。

永遠からの本来の神の御子をご自身の尊い血によって、その命を代償にして全力でわたしたちを罪と悪魔の支配から買い取ってくださいました。そしてご自分のものとしてくださいました。わたしが他の誰のものでもない、自分のものでもない、永遠からの神の御子のものになったのです。それこそが福音であり、わたしたちの唯一の慰め、救いです。信仰問答の問1を思い起こします。

**問1** 生きるにも死ぬにも、あなたのただ一つの慰めは何ですか。

**答** わたしがわたし自身のものではなく、体も魂も生きるにも死ぬにも、わたしの真実な救い主イエス・キリストのものであることです。この方は御自分の尊い血をもって、わたしのすべての罪を完全に償い悪魔のあらゆる力からわたしを解放してくださいました。

天の父よ。この生まれながらの罪人であるわたしたちのために、永遠からの本来の神の御子、イエスさまがまことの人となられ、その尊い命を捧げて、わたしたちを神さまの御前に迎え入れてくださいました。そのことのゆえに、どうかわたしたちが独り子であるイエスさまを主とし、イエスさまのものとされたことを喜んで生きることができるよう。主の御名によって祈ります。アーメン。